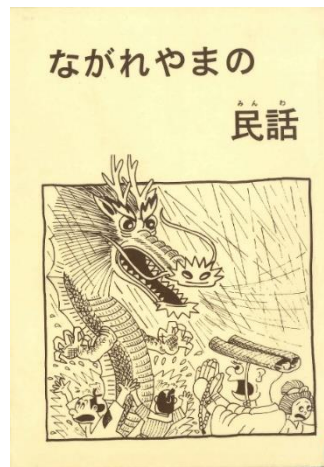


# 郷土かわらばん

## 流山の民話とゆかりのある寺社など1

流山に伝わる民話を記した本に、おのちゅうこうさんがまとめた『おの・ちゅうこう昔ばなし 流山・野田の巻』や、漫画家のおのつよしさんがまとめた『ながれやまの民話』があります。これらの本は、昭和五十一年（一九七六）から昭和五十三年まで、「広報ながれやま」に連載された言い伝えをもとにしたものです。これらの資料は市内の図書館で読むことができます。

今号・次号の二回にわたり、『ながれやまの民話』に載っている民話の概要と、登場する寺社などについてご紹介します。



ながれやまの民話

「ながれやまの民話」

構成・漫画 おのつよし

### ① 「大龍王とお坊さま」

大同年間（八〇六〜一〇）にこの近くの沼に住みついている大龍が、毎年秋の収穫の頃に大風を起こしたり、霜を降らせて村人を困らせているのを、弘法大師の高弟の桂伝阿闍梨がしずめ、お堂を建て大龍を風早明神（現鞍掛大龍王）として祀りました。それから大龍は暴れなくなり、村は栄えました。

### 成顕寺（じょうけんじ） 駒木

成顕寺は山号を「通法山」といい、諏訪神社の奥の院として知られていました。明治の初めに神仏分離になると、祀られていた鞍掛大龍王は諏訪明神と呼ばれるようになりました。創建は後宇多天皇の建治二年（一二七六）とされ、はじめは真言宗でしたが建治年間（一二七五〜七八）に、日蓮宗に改宗したと伝えられています。

左拝殿正面上に吊るされている鰐口は直径九十センチメートルもある大きな青銅製で、文化七年（一八二四）の銘が刻まれており、市指定有形文化財に指定されています。

〈ながれやま七福神の弁財天（知恵倍増）〉

森の図書館  
X  
@N\_morimoto



発行  
流山市立  
森の図書館

指定管理者  
株式会社  
すばる

## ② 「くらかけの松」

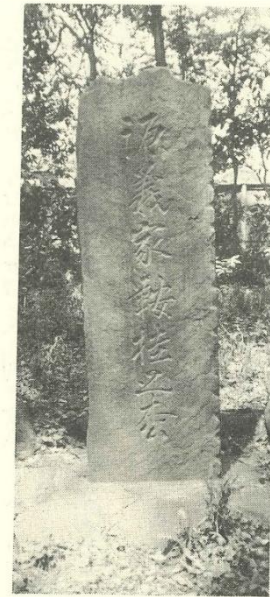
寛治年間（一〇八七〜九四）に源義家が奥州征伐（後三年の役）の途中、諏訪神社で武運を祈願し、また帰途も立ち寄って参詣したといわれています。その時乗馬と馬具を献上し、松の木に鞍を掛けたことからその松を「くらかけの松」と呼ぶようになりました。

### 諏訪神社（すわじんじゃ） 駒木

諏訪神社は大同二年（八〇七）、天武天皇の子・高市皇子の後裔が、政変で関東に下り駒木に定着し、この地の氏神として信州（長野県）諏訪大社をお迎えしてお祀りしたのがはじまりと伝えられています。祭神は、健御名方命（たけみなかたのみこと）です。社殿は、本殿・幣殿・拝殿からなり、弘化三年（一八四六）に完成しました。本殿・幣殿・拝殿は、市指定有形文化財に指定されています。

### 源義家鞍掛の松碑

「流山の史跡をたずねて」  
41ページより引用



## ③ 「オランダ観音さま」

延宝四年（一六七六）の頃、品種改良を目的にオランダから種馬が輸入されました。小金牧（幕府直営の牧場）に放牧されていましたが、気候や環境になじめなかつたこともあり、病死してしまいました。村人はオランダ馬の死を憐れんで馬頭観世音を建て、オランダ観音さまと呼んで霊を慰めました。

## オランダ観音（おらんだかんのん）

おおたかの森北2丁目

オランダ観音を訪れると、馬頭観世音の石塔が二基並び、笠をのせた小さい方が「オランダ観音」と呼ばれています。正面に「馬頭観世音」、側面に「小金領十太夫新田 願主 須賀八右衛門 同村中」、裏面には「延宝四年 小金山上野牧 おんはなしあそはされをらんだあしげ駒この所ひやうし」と刻まれています。延宝四年（一六七六）に上野牧に放された茸毛のオランダ馬がここで病死した、という内容です。

また、美原にも「オランダさま」と呼ばれる馬頭観世音の石塔があります。元文二年（一七三七）銘のもので、八代將軍徳川吉宗の頃に東インド会社を通じて輸入したペルシア馬を小金牧に放し、この地で死んだ馬を供養するために建立したといわれています。

## ④ 「朝ねぼうの観音さま」

下花輪の南の端は、ぐるっと丸く突き出した台地で、琵琶山といって景色のよいところでした。琵琶の首のようなところに観音堂があったので、村人は観音様を「琵琶首観音」とよんでいました。ある日、村人二人が観音さまのお参りにやってきました。ねらいは、お供え物です。その日は婚礼のご馳走が備えられており、お酒もありたらふく食べた二人は踊りだしてしまいます。それを見ていた観音さまも笑ってしまいお酒を飲み、一緒に踊りだす始末。踊り疲れて二人は寝てしまい、観音さまもお休みになりました。翌朝、観音さまは天上での会議に遅刻してしまいました。

## 西栄寺(さいえいじ) 桐ヶ谷

琵琶首観音は花輪城の守り神として崇められていました。その後、廃城となり観音堂だけ残っても村人が参詣していましたが、観音

堂の傷みが激しくなったことから、桐ヶ谷の西栄寺の境内に観音堂を建て、琵琶首観音をお祀りするようになりました。琵琶首観音は高さ約一・六メートル、金色がほどこされている美しい立像で、市指定有形文化財に指定されています。

西栄寺は、山号を「桐谷山」といい、不動明王を本尊とする真言宗の寺院で、永正十二年(一五二五)の開山とされます。

〈ながれやま七福神の福祿寿(招福安泰)〉

## 琵琶首観音

「チエック！流山のむかし」  
27ページより引用

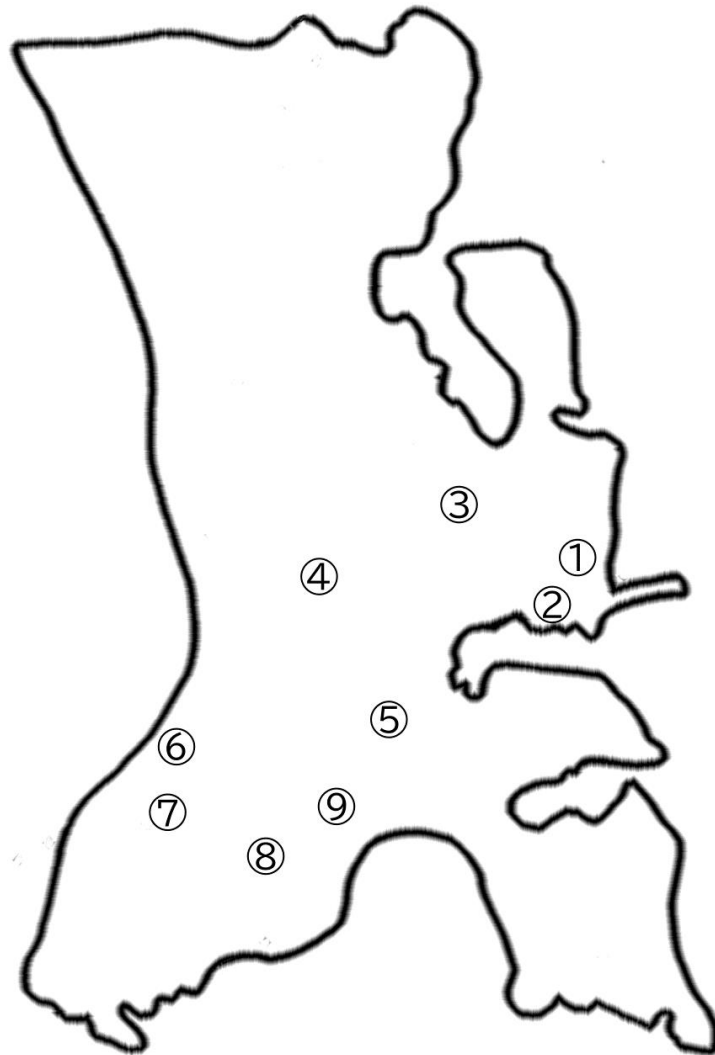


〈郷土かわらばん第13号へ続く〉

## 参考文献

- ・『流山の史跡をたずねて』 流山市教育委員会 斎書房 1974年
  - ・『広報ながれやま 縮刷版第2巻』 流山市役所 市長公室秘書広報課 1981年
  - ・『ながれやまの民話』 おのつよし 流山市商工課 1993年
  - ・『おの・ちゅうこう昔ばなし 流山・野田の巻』 おの ちゅうこう 斎書房 1986年
  - ・『楽しい東葛寺社事典 東葛流山研究 第34号』 流山市立博物館友の会 斎書房 2016年
  - ・『楽しい東葛伝説民話事典 東葛流山研究 第29号』 流山市立博物館友の会 斎書房 2011年
  - ・『こんにちは流山』 社会教育課 流山市教育委員会 1985年
  - ・『チエック！流山のむかし』 流山市立博物館 流山市教育委員会 2016年
- いずれも流山市立図書館の所蔵資料です。
- 協力：流山市立博物館

# 「ながれやまの民話」に ゆかりのある寺社マップ



- |            |        |
|------------|--------|
| ①大龍王とお坊さま  | 成顕寺    |
| ②くらかけの松    | 諏訪神社   |
| ③オランダ観音さま  | オランダ観音 |
| ④朝ねぼうの観音さま | 西栄寺    |
| ⑤ばちあたりの仙蔵  | 浄蓮寺    |
| ⑥ビン小僧の金市   | 閻魔堂    |
| ⑦流れてきた山    | 赤城神社   |
| ⑧目つぶしの鴨    | 東福寺    |
| ⑨八木の椎の木    | 熊野神社   |

※ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨は、郷土かわらばん第13号でご紹介します